

第1回 たのしく観光立町講演会 ひわたし 樋渡啓祐武雄市長が来町

8月22日、高森町の観光立町実現に向けた「平成25年度第1回たのしく観光立町講演会」が開催され、町内外から約150人が参加しました。

「日本で最も有名な市長」の一人といわれる佐賀県武雄市の樋渡啓祐市長を講師に招き、「気持ちの良い空間」と題し講演が行われました。

その中で、市立図書館や市民病院の改革など武雄市で行った取り組みと、インターネット通信販売の世界進出など今後の展望を紹介しました。

樋渡市長は、こうした取り組みを行う中で次の点を強調しました。

▼映像を交え、武雄市の取り組みを解説する樋渡市長



▲武雄市の取り組みを語る樋渡市長

- (1) スピードは最大の付加価値。
- (2) 議論を重ねるよりまず実行。
- (3) 良いものを徹底的にまねる。
- (4) 成功体験を学び、改善・変化させることで新たな価値を生み出す。
- (5) 公平なルールを作り、競争を促す。
- (6) ほめることが大事。

また、高森町の感想を「緑が濃く、空気がきれいで人もいい。」と述べ、高森の良さを住民から発信することが重要と訴えました。



▲講演後、多くの参加者から感想と質問が寄せられました



▲講評に耳を傾ける樋渡市長

高森東保育園

くまモン木像が寄贈される

7月16日、高森東保育園にくまモンの木像が贈られました。これは、チェーンソーアートクラブ熊本阿蘇支部の貞弘啓知さん（色見・小倉原）がチェーンソーを使い、制作したものです。

さっそく玄関に置かれたくまモンを見た園児たちは「かわいい」「よくできている」と感心していました。



▲制作者の貞弘さん（最後列左から2人目）と園児たち

社倉クラウンズ

棚田にヒガンバナを植栽

7月20日、社倉クラウンズ（会長・甲斐三郎さん）が草部地区の国道325号線沿いの棚田にヒガンバナの球根を植栽しました。これは、町のコミュニティ活動推進事業補助金を活用して行われたものです。

今後も吉見神社までの棚田に対し、継続的に植栽していく予定です。



▲社倉クラウンズのみなさん

南郷塾寺子屋

熊本大生と実験・実習活動

8月8日、高森高校で市内の小中高生を対象にした「寺子屋」が行われ、約100人が参加しました。

これは熊本大学理学部が3年前から高森町と連携して取り組んだものです。

参加した児童、生徒たちは体育館で行われた実験教室や、熊本大学の学生や留学生と英語で会話をしながら行った料理教室など、盛りだくさんの催しを楽しんでいました。



▲明かりを当ててソーラーカーを動かしていました

JA阿蘇南部トマト部会

幼稚園・保育園へトマトを贈呈

8月20日、高森幼稚園、高森保育園、色見保育園、高森東保育園の園児にトマトが贈呈されました。

これは、JA阿蘇南部トマト部会（会長・岩下雅文さん）が園児たちにおいしいトマトを食べてもらいたいと毎年行っているものです。

このうち、高森保育園ではトマトを受け取った年長園児が「おいしくいただきます」と笑顔でお礼の言葉を伝えていました。



▲トマトを受け取った高森保育園の園児たち

第54回高森町優良子牛保留奨励品評会 次世代の繁殖牛を育成

7月23日、南阿蘇畜産農業協同組合家畜市場で「第54回高森町優良子牛保留奨励品評会」が開催され、町内の畜産農家のべ29戸から63頭が出陳しました。

審査の結果、以下の牛が各部門の最優秀賞に選ばれました。おめでとうございます。

●褐毛（若令の部） 優等 しげかつ号（白石吉勝さん）
（壮令の部） 優等 だいまる号（高倉清孝さん）

●黒毛（若令の部） 優等 ともよ号（松尾治実さん）
（壮令の部） 優等 ふくひさ号（小嶋孝生さん）

※なお、全体のグランドチャンピオンには、高倉清孝さんの「だいまる号」が選ばれました。



▲手塩にかけて育てた牛がそろいました



▲軽妙なトークを展開する三遊亭歌之介さん

岳寿会 30周年記念特別講演会 三遊亭歌之介さんが講演

8月4日、高森総合センターで落語家の三遊亭歌之介さんによる記念講演会が行われました。

これは、社会福祉法人「岳寿会」の設立30周年を記念したもの。「心に響く笑いと涙の人生学」と題し、歌之介さんの少年時代や家族、時事問題を鹿児島弁を交えて語ると、会場は終始笑いに包まれていました。

農業専任アドバイザー 甲斐幸一さん（下切）が就任



7月22日、甲斐幸一さん（下切・下切）が農業専任アドバイザーに就任しました。

40年の長きにわたりJAに勤務された経験を活かし、主に草部出張所で営農相談や担い手支援、農地の集積活動や地域営農組織の設立推進窓口の業務を行います。

南阿蘇えほんのくに誕生祭 子どもたちが参加者を歓迎

8月3日から4日にかけて、「南阿蘇えほんのくに誕生祭」が高森町、南阿蘇村の8会場で行われました。

オープニングセレモニーが3日、高森駅広場で行われ、高森保育園児による合唱や中央小学校音楽部によるリコーダー

演奏のほか、地元名産品や雑貨を販売するマルシェが開かれ、参加者を楽しませていました。



▲参加者を子どもたちが笑顔で迎えました

高森阿蘇神社 夏季大祭

今も伝わる地域の伝統行事

7月30日、高森阿蘇神社で夏季大祭が行われました。これは毎年7月30日に行われる祭りで、神事、古伝神楽の奉納に続き、祭り唄「御唄」に合わせて2基の御輿を中心に御幸行列が町を練り歩きました。



▲太鼓を打ち、御唄に合わせて町中を練り歩きました

草部吉見神社夏祭り

伝統の舞が見物客を魅了

7月31日、草部吉見神社で夏季大祭が行われ、午前中の神事に続き、午後から大小2基の御輿が石段を上り下りしました。

その後、神楽の奉納と読み聞かせグループによる大型紙芝居「吉見神のはなし」が行われました。



▲2基の御輿が石段を上り、各地を練り歩きました

高森湧水トンネル七夕飾りコンテスト表彰式 色見保育園が見事特賞を受賞

8月27日、高森湧水トンネル公園「七夕飾りコンテスト」の表彰式が高森町役場で行われました。

これは「七夕まつり」期間中の7月6～7日に投票が行われたものです。審査結果は次のとおりです。おめでとうございます。

- 特賞／色見保育園 ●金賞／高森東保育園
- 銀賞／仲良し親子2・仲良し親子3
- 銅賞／高森幼稚園・肥後銀行高森支店
- アイデア賞／高森保育園・TJF8・(株)伊澤製作所・ベビーの託児室アンジェリカ・くまもと江津湖通園センター



▲草村町長（写真左端）と61団体の中から受賞されたみなさん

高森町と岩下株式会社が企業立地協定 ベビー服の工場を建て替え

7月26日、高森総合センターで高森町と岩下株式会社（本社・東大阪市）との間で工場建て替えに関する企業立地協定の調印式が行われました。

岩下株式会社は昭和48年から高森町で工場を稼働。生産ライン強化のため工場の建て替え、増設を行うものです。

工場の完成に伴う従業員の新規雇用も計画され、高森町の産業のさらなる発展が期待されます。



▲調印後、握手を交す（左から）草村町長、岩下株式会社の岩下眞彰社長、立会人の眞崎熊本県商工観光労働部長